

心のふれあいを求めて

地域みんなで支え合う
このまちに、やさしい心と
あたたかさ

深まる交流の場

ふれあい・いきいきサロン

- ① **どなたでも参加できること**……「ふれあい・いきいきサロン」は、介護保険などの公的サービスの対象とならない高齢者（自立者）などが、身近な集会所や公民館などに集まり、おしゃべりやレクリエーションなどを通して地域の方々とふれあえる交流の場です。ふれあうことで孤独や不安を和らげてもらうこと、全国社会福祉協議会が開設を呼びかけているもので、地域住民などの自主的活動として運営されています。
- ② **楽しむ……**ゲームなどのレクリエーションは、場を和ませる潤滑油となります。
- ③ **役に立つ……**楽しいだけではなく、参加者自身に役立つことや、社会のために役立つことも行われています。
- ④ **食べる……**ボランティアが作ったり、参加者が持ち寄ったり、大勢で一緒に食べる食事は格別です。
- ⑤ **出かける……**たまには気分を変えて、花見や遠足などへ出かけます。



ワープロ講習会



食事をしながら和気あいあい、会話も弾みます。

1 ふれあいサロンしらゆり

ボランティアからパートナーシップへ

Shiroishi Friendly Communication Space

活動場所……日本キリスト教団白石教会（市役所北側）
活動日……毎週木曜日10時～15時
参加費……1回100円（昼食代）
問い合わせ……代表ノ大森啓子さん ☎26-3862

Interview



サロン代表 大森啓子さん

障害者とその家族の情報交換や交流、障害者自身やその家族による相談活動（ビュアカウンセリング）、ボランティアの集いと研修、ボランティアのネットワークづくりなど、サロンを拠点にさまざまな活動を展開していきたいと考えています。

しかし、活動の根本にあるものは、障害者と市民が気軽にふれあえる場所にしたいということです。ですから、ただでも参加できます。ぜひ一度のぞいてみてください。

私の好きな言葉は、「いのち輝いてみんな違って みんないい」。これは、幻の童謡詩人と呼ばれる金子みすゞの著作から引用したものです。目指しているのは、障害者も高齢者も、誰もが地域の中で支え合い、あたたかく暮らしていける地域づくり。白石で暮らす多くの人々に光をあて、輝かせ続けたいようなそんなサロンにしたいと思っています。

